



2023年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月31日

上場会社名 東亜合成株式会社

上場取引所 東

コード番号 4045 URL <https://www.toagosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 美己志

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 松田 明彦 TEL 03-3597-7215

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	116,149	2.2	8,088	32.9	9,672	29.8	8,175	20.6
2022年12月期第3四半期	118,717	4.7	12,054	11.4	13,773	4.5	10,294	3.4

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 13,971百万円 (16.4%) 2022年12月期第3四半期 12,004百万円 (23.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	68.66	
2022年12月期第3四半期	83.05	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	264,236	210,585	79.3
2022年12月期	265,135	210,807	77.7

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 209,577百万円 2022年12月期 205,969百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期		18.00		18.00	36.00
2023年12月期		20.00			
2023年12月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	162,400	1.0	10,500	27.0	12,000	27.0	10,300	17.6	87.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

詳細は、四半期決算短信(添付資料)8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期3Q	122,100,000 株	2022年12月期	122,100,000 株
期末自己株式数	2023年12月期3Q	4,811,191 株	2022年12月期	994,783 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期3Q	119,075,015 株	2022年12月期3Q	123,955,247 株

(注)2023年12月期3Qの期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定上控除する自己株式数には、従業員向け株式交付信託が保有する当社株式が含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予想が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(ア) 当第3四半期連結累計期間の概況

当第3四半期連結累計期間（2023年1月1日から2023年9月30日まで）の世界経済は、米国の景気は堅調に推移しましたが、欧州の景気は足踏み状態となり、中国では政策金利を引き下げたものの景気回復への動きは弱いなど、世界主要各地域で異なる経済状況となりました。

わが国経済は、半導体や基礎化学品の需要が伸び悩む一方、自動車の生産・販売に復調の兆しが見え始め、インバウンドやリベンジ消費などによる、飲食業や旅行業の回復も期待されるようになりました。

このような状況下、当社グループは引き続き車載用電池や半導体向け高機能製品の開発および拡販活動を継続いたしました。その結果、売上高は1,161億4千9百万円（前年同期比2.2%減収）、営業利益は80億8千8百万円（前年同期比32.9%減益）、経常利益は96億7千2百万円（前年同期比29.8%減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は81億7千5百万円（前年同期比20.6%減益）となりました。

(イ) セグメント別の業績

2023年1月1日付で組織変更を実施し経営管理区分を変更したことに伴い、第1四半期連結会計期間から、従来「基幹化学品事業」セグメントに含めていたサステナビリティ関連事業を「その他」セグメントに移管しております。なお、前年同期比につきましては、変更後の区分方法により作成した前第3四半期連結累計期間の数値と比較しております。

①基幹化学品事業

電解製品は、全般的に販売数量減となりましたが、昨年からの価格改定もあり増収となりました。アクリルモノマー製品は、国内および海外市況低迷の影響により減収となりました。工業用ガスは、販売数量は前年並みとなりましたが、原燃料価格高騰に対応した価格改定により増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は531億7百万円（前年同期比2.3%減収）となりました。

営業利益は、アクリルモノマーの市況低迷の影響が大きく、41億1千万円（前年同期比31.7%減益）となりました。

②ポリマー・オリゴマー事業

アクリルポリマーは、顧客での在庫調整による販売数量減で減収となりました。アクリルオリゴマーは、電子機器関連での需要低迷による販売数量減で減収となりました。高分子凝集剤は、海外需要低迷の影響により減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は249億8千7百万円（前年同期比7.2%減収）となりました。

営業利益は、販売数量減の影響により、22億7千8百万円（前年同期比32.4%減益）となりました。

③接着材料事業

国内の家庭用は、コンビニエンスストア向け製品が堅調な出荷となり増収となりました。海外の家庭用は、北米および中南米での販売数量減により減収となりました。機能性接着剤は、スマートフォン関係向け製品が販売数量減となりましたが、車載用電池向け製品の販売数量増により増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は88億6千3百万円（前年同期比7.5%増収）となりました。

営業損益は、スマートフォン関係向け製品の販売数量減の影響により、0百万円の損失となりました。

④高機能材料事業

高純度無機化学品は、半導体市況低迷の影響を受け減収となりました。無機機能材料は、抗菌剤の販売数量減により減収となりました。メディカルケア製品は、試験用サンプルの販売があり増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は75億9千1百万円（前年同期比2.2%増収）となりました。

営業利益は、半導体向け製品の販売数量減と研究開発費の増加により、12億1千6百万円（前年同期比27.5%減益）となりました。

⑤樹脂加工製品事業

管工機材製品は、公共事業や住宅着工戸数低迷による販売数量減で減収となりました。ライフサポート製品は、原材料価格高騰に対応した価格改定により増収となりました。エラストマーコンパウンドは、原材料価格高騰に対応した価格改定により増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は201億7千7百万円（前年同期比1.6%減収）となりました。

営業利益は、管工機材製品の販売数量減により、10億1千万円（前年同期比27.8%減益）となりました。

⑥その他の事業

新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業などにより構成される当セグメントは、商社部門で増収となり、売上高は14億2千1百万円（前年同期比10.4%増収）となりました。

営業損益は5億4千7百万円の損失となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

資産合計は、保有株式の時価の上昇により「投資有価証券」が増加したものの、「現金及び預金」などの流動資産が減少したため、前連結会計年度末に比べ8億9千8百万円、0.3%減少し、2,642億3千6百万円となりました。

負債合計は、繰延税金負債の増加により固定負債の「その他」が増加したものの、「支払手形及び買掛金」などの流動負債が減少したため、前連結会計年度末に比べ6億7千7百万円、1.2%減少し、536億5千万円となりました。

純資産合計は、「その他有価証券評価差額金」が増加したものの、連結子会社であるMTアクアポリマー株式会社の出資比率引上げにより「非支配株主持分」が減少したため、前連結会計年度末に比べ2億2千1百万円、0.1%減少し、2,105億8千5百万円となり、自己資本比率は79.3%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

文中の将来に関する事項は、本資料の発表日現在において、当社グループが判断したものです。

当第3四半期連結累計期間は、全般的に出荷数量減となりましたが、車載用電池向けや自動車部品向け製品の販売数量が増加するなど明るい兆しがみえてきました。しかし、第4四半期以降の経済状況は、ロシアのウクライナ侵攻が続くなか、中東情勢も緊迫化するなど世界情勢は安定せず、不透明さを増す見込みです。

このような状況から、将来の業績を高い精度で見積もることは困難であります。現在発生している様々な出来事がこれ以上大きくならないとの前提に立ち、7月31日に発表いたしました2023年通期の連結業績予想は、据え置くことといたします。なお、業績予想の変更が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,366	33,747
受取手形及び売掛金	49,848	47,841
有価証券	18,000	17,000
棚卸資産	25,511	25,803
その他	5,309	3,741
貸倒引当金	△50	△47
流動資産合計	138,985	128,086
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,467	27,096
機械装置及び運搬具（純額）	24,399	24,178
土地	29,146	29,240
その他（純額）	9,761	13,770
有形固定資産合計	90,774	94,285
無形固定資産	1,592	1,561
投資その他の資産		
投資有価証券	28,472	34,757
退職給付に係る資産	2,704	2,910
その他	2,612	2,640
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	33,782	40,302
固定資産合計	126,150	136,150
資産合計	265,135	264,236

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,653	17,119
短期借入金	2,475	2,474
未払法人税等	2,176	395
引当金	16	619
その他	13,470	14,203
流動負債合計	37,792	34,813
固定負債		
長期借入金	8,590	8,588
退職給付に係る負債	117	116
株式給付引当金	—	85
その他	7,828	10,047
固定負債合計	16,535	18,837
負債合計	54,328	53,650
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,886	20,886
資本剰余金	15,095	14,196
利益剰余金	158,154	161,770
自己株式	△1,081	△5,908
株主資本合計	193,053	190,945
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,598	14,241
為替換算調整勘定	3,471	4,546
退職給付に係る調整累計額	△154	△156
その他の包括利益累計額合計	12,915	18,631
非支配株主持分	4,837	1,008
純資産合計	210,807	210,585
負債純資産合計	265,135	264,236

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)
売上高	118,717	116,149
売上原価	85,646	86,579
売上総利益	33,071	29,569
販売費及び一般管理費	21,017	21,481
営業利益	12,054	8,088
営業外収益		
受取利息	40	182
受取配当金	673	718
持分法による投資利益	163	151
為替差益	822	399
固定資産賃貸料	145	136
その他	206	281
営業外収益合計	2,050	1,869
営業外費用		
支払利息	69	96
環境整備費	199	63
遊休設備費	19	9
その他	42	114
営業外費用合計	330	285
経常利益	13,773	9,672
特別利益		
投資有価証券売却益	1,003	1,998
補助金収入	283	84
特別利益合計	1,286	2,082
特別損失		
固定資産処分損	417	168
投資有価証券評価損	109	3
投資有価証券売却損	—	2
土壌汚染対策費用	358	—
特別損失合計	885	175
税金等調整前四半期純利益	14,174	11,580
法人税等	3,640	3,353
四半期純利益	10,534	8,227
非支配株主に帰属する四半期純利益	240	51
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,294	8,175

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	10,534	8,227
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△727	4,644
為替換算調整勘定	2,239	1,101
退職給付に係る調整額	△42	△2
その他の包括利益合計	1,469	5,744
四半期包括利益	12,004	13,971
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,705	13,891
非支配株主に係る四半期包括利益	299	79

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年2月10日開催の取締役会決議に基づく自己株式3,883,900株の取得などを行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間にて自己株式が4,826百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が5,908百万円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしています。これによる当第3四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(従業員向け株式報酬制度)

当社は、当社従業員(以下「従業員」という。)に対する福利厚生制度を拡充させるとともに、従業員の当社業績や株価上昇への意識を高めることにより、業績向上を目指した業務遂行を一層促進し、当社の中長期的な企業価値向上を図ることを目的として、従業員向け株式報酬制度(以下「本制度」という。)を2023年4月に導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として信託(以下「本信託」という。)を設定し、本信託が当社普通株式(以下「当社株式」という。)の取得を行い、従業員のうち一定の要件を充足する者に対して付与されるポイントに基づき、本信託を通じて当社株式を交付するインセンティブ・プランです。当該ポイントは、当社取締役会が定める株式交付規程に従って、従業員の役職等に応じて付与されるものであり、各従業員に交付される当社株式の数は、付与されるポイント数により定まります。

本信託による当社株式の取得資金は、全額当社が拠出するため、従業員の負担はありません。

(2) 信託に残存する自社の株式

本信託に残存する当社株式を、本信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額および株式数は、当第3四半期連結会計期間末において、それぞれ475百万円および387千株であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 材料事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	54,335	26,921	8,242	7,426	20,502	117,429	1,287	118,717	—	118,717
セグメント間の内部 売上高または振替高	3,701	1,117	68	184	221	5,291	1,139	6,431	△6,431	—
計	58,036	28,038	8,310	7,610	20,724	122,721	2,427	125,148	△6,431	118,717
セグメント利益	6,017	3,369	33	1,676	1,398	12,496	△458	12,037	16	12,054

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 材料事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	53,107	24,987	8,863	7,591	20,177	114,727	1,421	116,149	—	116,149
セグメント間の内部 売上高または振替高	2,813	1,185	126	199	492	4,816	1,156	5,973	△5,973	—
計	55,920	26,173	8,989	7,790	20,669	119,543	2,578	122,122	△5,973	116,149
セグメント利益 または損失 (△)	4,110	2,278	△0	1,216	1,010	8,614	△547	8,067	20	8,088

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益または損失の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益または損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分変更)

2023年1月1日付で組織変更を実施し経営管理区分を変更したことに伴い、第1四半期連結会計期間から、従来「基幹化学品事業」セグメントに含めていたサステナビリティ関連事業を「その他」セグメントに移管しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。